

◎連続掲載

# 震災、その後。

皆さんが今、疑問に感じていること。

東日本大震災から3か月。市では、これまでライフラインの復旧、二次災害の防止、被災者に対しての住宅対策や建物被害認定調査などを行ってきました。今月号では、市民の皆さんが疑問に感じていることをキーワードに市が行っている事業や工夫などを紹介します。

それでは、質問です。  
次の問いに答えてください。

これらの質問は、  
日常の会話で話  
されています。

- 1.被災道路などの復旧の見通しはどうなっているのですか。
- 2.震災に対して現在、市はどのような取り組みをしていますか。
- 3.学校での放射線対策はどのようにしていますか。
- 4.農産物の風評被害に対して現在、市はどのような取り組みをしていますか。



### 1の回答

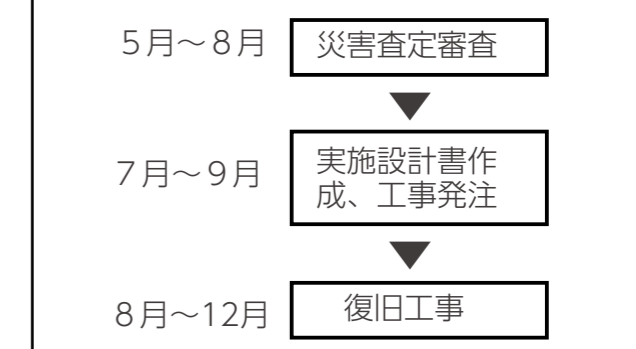
市道は年内の完了を目指します。

市では、震災により被災した道路、下水道、公園、農業用施設などの公共施設について、これまで復旧に向けての調査や測量、設計を行ってきました。復旧には多額の費用がかかることから、国の補助・支援を受けながら原形復旧を原則に工事を進めます。このため、範囲や工法、工事費などについて、国の査定を受ける必要があり、この査定が8月中旬まで行われます。

この査定により、工法等が決定した順に工事を発注し、復旧を本格化させます。復旧までの期間は、工事の内容や規模などにより異なりますが、年内に完了するよう進めていきます。

Schedule

### ◎スケジュール



本庁舎 ☎1111 / 各庁舎事業課 表郷 ☎4786 大信 ☎462115 東 ☎342114

道路 ▶ 本庁舎道路河川課 内2276・各庁舎事業課  
下水道 ▶ 本庁舎下水道課 内2237・各庁舎事業課  
公園 ▶ 本庁舎都市計画課 内2284・各庁舎事業課  
農業用施設 ▶ 本庁舎農政課 内2226・各庁舎事業課

### 2の回答

災害復旧のためのプロジェクトチームを編制しました。

震災により被災された方への義援金・見舞金の配分支給や各種制度活用による支援を行うため、9人の職員からなる災害対策生活支援班（プロジェクトチーム）が編成されました。

支援班は、5月9日から、被災された方を支援するため総合窓口を設置し、全壊・大規模半壊・半壊と判定された世帯に対し、義援金等の説明および申請受付、ならびに生活再建のための各種支援制度の相談受付を行っています。

窓口は市役所1階ロビーで、月曜日から金曜日および日曜日の午前9時から午後5時まで開設しています。



☎市災害対策生活支援班 ☎1135

### 3の回答

安全性を考慮し、様々な工夫をします。

現在、各幼稚園、各小中学校では、毎日放射線量を測定しており、その結果は、文部科学省が示した活動制限基準（3.8マイクロシーベルト/h）をかなり下回る状況にあります。

各学校では、できるだけ放射線を浴びないように、活動時間（できるだけ短く）・天候（雨や風に留意）・服装（できるだけ皮膚を出さない）を十分考慮し、安全を第一に考え教育活動を行っています。また、屋外活動の後には、手や顔を洗い、うがいをし、衣服の汚れやほこり、靴の泥を払ってから室内に入る、できるだけ窓は開放しないなどの徹底を図っています。

今後も、子どもの心と体の健康を第一に考え、教育活動を進めます。



☎本庁舎学校教育課 ☎1111 内2365

### 4の回答

安全安心のPRを全国に発信します。

現在、白河地方においては、ほとんどの農産物の出荷制限は解除されており、市場に流通されているものは、安全・安心なものです。しかしながら、原発事故に関する連日の報道が風評被害を生み、消費者に不安を与え、買い控えや価格の下落を招いている状況です。

先般、風評被害を一掃するため、白河地方の9市町村・JA・商工団体が一体となり、東京都日比谷公園で、県ゆかりの著名人とともに首都圏の消費者に農産物等の安全安心のPRキャンペーンを展開し、農林水産大臣への要望を行いました。

今後もPR活動を展開していきます。



▲5月11日、東京・大田市場で新鮮野菜をPRする鈴木市長

☎本庁舎農政課 ☎1111 内2224